



倉持 守 議員

菅生沼にも防災対策を

菅生沼の位置付けと水害の関連性について



議員 昭和30年頃までは菅生沼の水は深くきれいだだったが、堤防と水門が築かれたことで陸地化が進んでいる。27年の関東・東北豪雨災害でご承知のとおり、菅生沼近隣の民家の人たちも、水害は懸念している。29年10月、台風の水の状況を示す写真があり、1枚は菅生中郷橋付近、近隣民家の庭に水が入った状態で、近隣民家からプレハブとトイレが流入している写真。もう1枚

は、民家に入れないために近所の方が船を出している写真。防災先進都市を目指す常総市としてこの状況を見てどう思うか。菅生沼の位置づけと環境整備、そして防災の面から、水害との関連性について尋ねる。

経済環境部長 市としては、菅生沼を考える会や地元自治会の活動に協力し、周辺自治体、県と協力連携して環境保全に努めていく。

都市建設部長 過去に地元住民、市職員、地元議員、県の境工事務所の関係者で、菅生沼・飯沼川の整備に関する検討会を合計4回実施し、県の境工事務所では、「検討された課題をもとに長期的な整備方針を定め、実施していく」計画を進めている。

市長公室長 大雨や台風により浸水してしまふ箇所がいくつか見受けられる。早期の治水対策、河道掘削やしゅんせつ工事は極めて重要であると考え、菅生沼陸地化解消については、国や県、境工事務所に対策を講じるよう強く要望していきたい。

議員 国への要望活動を進めて、水害のない常総市にしたいと思う。

□ 殿 園 園 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 園 園



茂田 信二 議員

税金の無駄使いをするな

市長の市政を問う (市長の政治姿勢を問う)



と国保料を引き下げるべきだ。また、道の駅とインターチェンジ周辺に関する3冊の冊子を作るのに3100万円もかけているが、なぜそんなにかるのか。私でも作れるような内容だ。仲間にお金が流れているのか。

産業拠点整備課長 3100万の委託費の内訳は、道の駅の基本構想、基本計画については官民連携による取り組みで戸田建設と随意契約を、先導的の事業については今議会後に国交省のホームページに調査の成果が掲載されるが、こちらも戸田建設に委託している。

議員 戸田建設に税金払って頼まなくてはならない理由があるのか。

市長 官民連携で研究をしていくことが大事。民間の知恵を入れていくということが一番大切。

議員 道の駅が赤字の場合誰が責任をとるのか。

市長 道の駅を作る、作らないは、議会制民主主義の中で、市民の合意、議員の皆さんの理解がなければできないと考えている。
議員 それでは答弁になっていない。